

『桜前線と共に白鳥たちも  
日本列島を北へ駆けよがる』



発行 日本白鳥の会  
責任者 藤巻 裕蔵  
事務局 浜頓別町クッ  
チャロ湖水鳥観察館内  
電話 01684(2)2524

記録的な秋の大スワン・フォールが始まった(最上川河口)今年の白鳥シーズンは、記録的な○○・○○とか、今まで○○ない・○○とかという表現が異常とも言える気象とも絡んで紙面を賑わした年だったような感じがしました。その白鳥たちも越冬を終え、雪解け前線の北上に促されるように北上を開始し、四月下旬に遅れた桜前線と共に日本列島から姿を消して行きました。

あなたにとって、このシーズンの白鳥たちの様子はいかがでしたか。納得のいくつきあいができた年でしたでしょうか。写真は、今年の4月26

日に山形県の庄内平野で撮影したのですが、春霞にかすむ山々と満開の桜の下の水田で新芽をついばむおおよそ百羽ほどのコハクチョウ達でした。よくよく詳しく見てみるとこの白鳥たちのほとんどが**重成鳥の特徴**を首筋に残しているのです。成鳥のペアーは、全くと言っていいくらい観察できませんでした。

ヨーロッパでも春遅く渡って行く群れのほとんどには、ペアーの成鳥達の姿は見られなくほぼ重成鳥達の集まりということでした。

今年繁殖しなければならぬ成鳥達は、大急ぎで北上飛去し、非繁殖群は北上の旅を楽しみながらふるさとの地を目指しているのかなと思ったりとときでした。

豪雪のせいかな、今年はあちこちの越冬地で傷病残留白鳥の姿が多いようです。特に翼を痛めた白鳥にはやはり幼鳥が多いような気がします。

春は白鳥達にとっては別れの季節でもあるようです。

HPをもっと  
楽しいものに

日本白鳥の会のHP(ホームページ)をご覧になったことはありませんか? さんねんながらこれまでHPは、一度見ると何度も訪れてみたいと思うものではなく、ちょっと楽しさも感じられないものという評判でした。

HPというのは、会社であればその顔というようなもので、HPの良し悪しが会社の評判にも関わるような現在です。

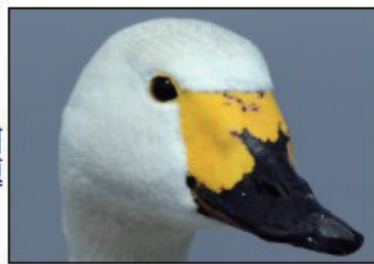
そこで、日本白鳥の会でもHPをより楽しく、何度でも訪れてみたいものにリニューアルすることになりました。

HPにこんなコーナーがほしい。とか、知りたいことや疑問なども答えてくれるようにしてほしい等という要望や希望・ご意見を募集しております。是非、あなたのお考えや希望を事務局までお知らせ下さい。みんなで楽しい日本白鳥の会のHPを作り上げましょう。

よろしく!



少し気分転換に白鳥クイズに挑戦してみたい。私たちが人間目にはまぶたがあり、目は閉じた時に動くまぶたは上のまぶたか下のまぶたか、それとも両方か? まず鏡で確かめて下さい。



それでは**問題**です  
白鳥にもまぶたがありますが、白鳥が目を閉じた時に動くまぶたは、  
A 上のまぶた  
B 下のまぶた  
C 両方のまぶた?  
さて、日頃から白鳥をよく観察している貴方! もちろん正解ですよ。  
正解は、いつ教えますか? もちろん今でしょ。  
正解は四ページに。

# 平成二十四年度 『滋賀県草津市琵琶湖大会』 開催される

## 第41回理事会総会開催 平成25年度事業計画決定

第41回日本白鳥の会総会・理事会は、平成25年1月19日午後12時30分から滋賀県草津市アマミカホールにて開催されました。



総会での審議風景

総会前に行われた理事会では、総会に提案する事項について事務局から提示され、理事からの提案も含めて総会への議案が検討・決定されました。

理事会に引き続いて行われた総会には会員29名が出席し藤巻会長の挨拶の後、地元理事の肥田嘉昭氏を議長に選出し、議事次第にしたがい収支決算、事業報告を行い、新年度予算、事業計画案に

心に、時間をかけて親しみやすく見て楽しいHPへと一新する方向となりました。ご要望、アイデア等は、事務局か谷岡理事へご連絡下さい。③については、角田理事が担当となり、各地から情報提供や候補地などを会員を中心に事業推進協力委員を委嘱して作成を進める事となりました。角田理事から連絡等がありましたら、ご協力下さい。④については、会田副会長の地元・アルプス白鳥の会にご協力いただき、平成25年度は長野県で平成26年3月1・2日に開催する事となりました。なお、その後の平成26年度は福島県猪苗代湖、平成27年度は千葉県で開催できるように地元の協力を得ていくことになりました。

①会則の改訂②HPのリニューアル③白鳥類重要越冬地100の作成④次回研究会予定等がありました。①については、会員へ再度、改訂案をお送りし意見を集め、次回総会開催地長野県で開催する事となりました。②については、谷岡副会長を中

## 第37回 研修会 11の研究発表で盛会裡に



研究発表に熱心に聞き入る参加者

平成25年1月19日(土) 滋賀県草津市アマミカホールで第37回日本白鳥の会研修会「草津市琵琶湖大会」が開催されました。滋賀県で開催される白鳥の会の研修会は、今回が三回目で、会員30名、一般45名にご参加いただきました。

研修会は、藤巻裕蔵会長の主催者挨拶に続いて来賓の橋川渉草津市長のご挨拶をいただき始めて始まりました。研究発表は例年になく多く11題もの発表をいただきました。特に今回は、



Chung-Rok Park氏(右)

韓国ハクチョウネットワークのChung-Rok Park氏から『落東江河口の白鳥の飛来状況』について、通訳を通してながらも見たこ

とのない隣国の白鳥の飛来の様子を聞くことができ全員聞き漏らすまいという雰囲気も感じられました。また、例年がない、ビデオを使った発表等もあり大変な盛会でした。夜には、情報交換会・懇親会を大江草津の老舗料亭である魚宣楼(うおどらろう)で開催し、歴史ある建物での情報交換や懇親会は、研修会とは違った雰囲気、和気藹々で時間を忘れる大変楽しい意欲深いものとなりました。

# 現地研修会

の皆様、お忙しい中、心からのご歓迎ありがとうございます。ございました。

勿論、研究発表者としての参加はさらに大歓迎です。詳細案内は後日事務局からあります



会の活動を説明する吉岡氏

次回は、長野県安曇野市のアルプス白鳥の会の80周年というとてもあり、来年3月1、2日開催の予定となっております。研修会の研究発表内容も年々益々充実しており、会員の皆さん多数のご参加いただきたいと思います。

翌日の現地研修会では、草津支志那琵琶湖湖畔にある草津湖畔コハクチョウを愛する会の会員手作りの観察小屋で実際の活動の様子を直接観察させていただきます。水生植物公園水の森、湖北野鳥センターなどを巡り、琵琶湖の白鳥の生息状況をじっくり見学することができます。



現地研修会で白鳥を観察する参加者



やっと見つけた白鳥群

**次回 第38回研修会・第42回総会**  
**2014年3月1~2日 長野県安曇野市で**

## 写真特集 総会・研修会こんな様子で



研究発表者と聴衆



琵琶湖畔にある観察小屋



参加者全員での記念撮影



友好を深めた懇親会

とっても楽しく  
有意義な会でした  
あなたも来年は、



寄せ書きに一言

# 日本白鳥の会の メールリクエスト そんなものなの？

日本白鳥の会の事業にメールリクエストの実践ということが書かれてあります。

ところであなたは、このメールリクエストなるものをどこで見たか？

そこで、少し調べてみました。まず、メールリクエストなるものの定義は、インターネットのチャット辞書によると『グループ内で情報交換をするための電子メールの利用方法の一つ。参加者全員を特定するメールアドレスに登録することにより、そのアドレスに届いたメールを参加者全員に送付するシステム。』とある。

「大辞泉」とある。また、簡単に言えば電子メールで情報交換するための方法と云うことだ。情報交換ができることには、すぐ便利だと思いが、そのための条件が一つあるようだ。それは、情報をいただきたい

と思う人が、特定のメールアドレスに登録しなければいけないということなのだ。その特定のメールアドレスに自分のメールアドレスを登録しておくと情報が勝手にやってくるのだ。もちろん、そのもらったメール（情報）にいちいち返事を出す必要もないし、返事を出したいと思ってもこのメールリクエストというシステムを使って行くとその人にだけ届くのではなく、登録している人全員にメール（情報）が自動的に届くようになってくるのだ。パソコンをいじったことがあって、自分のメールアドレスを持っていてる人であれば誰でも自由に参加できるシステムだ。特に、日本白鳥の会のメールリクエストは、白鳥の会の会員限定のもので白鳥に関する情報だけが入ってくるのであって、コマースャル的なものや物品を販売

するようなメールは全く入ってこないのだ。だから何の心配もなくメールリクエストに参加できるようだ。なぜ今回メールリクエストの充実について事業として取り上げたのかを事務局に問い合わせると事務局のみなさんが、できるだけ簡単にいろいろな情報を交換できるし、入手できる方法でもあり、是非、メールリクエストに登録をして会員同士の相互交流や情報交換をしていただきたいということでした。

ちなみに、日本白鳥の会のメールリクエストに参加している人は現在会員が26名だということだ。そして、場合によっては、携帯電話のメールアドレスでも参加できることもあるので、事務局に問い合わせてみてはどうでしょうか。あなたも今日からメールリクエストに登録してメールリクエストを楽しみましょう。

メールリクエストに参加しているのは自宅にいても全国の白鳥情報がどんどん届いてきています。詳細は、事務局小西まで。

## コブハクチョウが、コハクチョウをいじめていませんか？



コハクチョウを威嚇するコブハクチョウ

コブハクチョウは、日本鳥類目録に50年以上確実な国内野生記録がないとされる鳥です。

しかし、日本各地には半野生化したコブハクチョウが見られます。これは、もともと飼育していた個体の子供や子孫たちです。米子水鳥公園（鳥取）でも、周辺で野生化したコブハクチョウが多くみられ、園内にも入ってきます。

これらのコブハクチョウは、毎年20〜30回ほど米子水鳥公園でコハクチョウの追い廻しと思われる行動をします。写真のように、翼を持ち上げる威嚇のポーズをとりながら5分から10分ほど追いかけて、最後は米子水鳥公園から追い出してしまいます。

さて、クイズの答えはわかりましたか？  
正解は左の写真を見れば一目瞭然ですよね。そうです、白鳥が目を閉じた時動くまぶたは人間と反対の下のまぶたです。



正解は下のまぶたです

なぜ下のまぶたなのか？他の動物はどっちなのか？...等と考えると楽しいですよ。

やっと完成！楽しいものと伝えなければいけないものにと挟まれて、何とか終了！

白鳥ニュースに載せてほしいことご希望も待っています。今年の10月には白鳥たちがどんな姿を見せてくれるのかな？？？

編集者 角田 分